



地域に根差し、世界に開く

コラボ通信

第50号
2018年12月9日

CCC（コミュニティ・コラボレーションセンター）とは・・・

学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を生きたものにしていけるようサポートしています。これまでに、多くの学生がCCCを通して、地域に飛び出し、NPOや市民団体、企業などと連携して共に活動しています。

CCCが2006年9月に開設して始まったニュースレター「コラボ通信」。
今回はCCCに関わった卒業生と現役学生スタッフでこの50号を作成しました。

CCCのトビラはいつも みなさんに開いています。

CCCへ ようこそ☆



おしえて先輩

2012年度に交流文化学部を卒業し、現在は瀬戸市で中学の教師をされている臼井早紀さん。
学生時代は東日本大震災で愛知県に避難されてきた方を対象に支援活動を行ってきました。
今年、念願の JICA の協力隊員に決まり、キルギスでの派遣生活を送っています。
そんな先輩から届く「キルギス通信 No.5」！今回はこちらをご紹介します。
キルギス通信のバックナンバーを知りたい方は CCC へ☆



— キルギスとのつながり —
Link with Kyrgyzstan

No.5
2018年10月号
臼井 早紀

大好きマイラム♡ 大好きトイ♡

10月15日に初雪を観測した、キルギスのコチコルから今月もお届けします！首都を含めほかの地域では雪が積もったようですが、コチコルは積もるまではいきませんでした…。日本もそろそろ寒くなってきたころでしょうか？キルギスに到着してもう100日が経過しました。早いような、まだ100日かぁというような感じです。この100日で様々な発見がありました。今回はその中でキルギス人が大好きなマイラムとトイについて紹介したいと思います。



キルギス語でマイラム(майрам)はお祭りや祝日、トイ(той)はパーティという意味があります。日本のように祝日で学校や仕事が休みになることは少ないですが、とにかくマイラムやトイがたくさんあります！まずはキルギスの祝日を紹介します。

1/1：正月 2/23：祖国の日 3/21：ノールズ(旧正月) 5/5：憲法記念日 5/9：勝利の日
6/15 変動あり：オロソ・アイット(断食明け) 8/31：独立記念日 11/7：社会主義革命の日



これらの祝日に街でイベントが行われたり、各家庭でトイが開かれたりします。その他に、9/23にキルギス語の日、10/5に教師の日など、休みではないもののみんなでお祝いすることもあります。

この100日間で参加したトイは約10回。おおよそ10日に1回の頻度でトイにお呼ばれました！トイは宗教に関係するお祭りもあれば、結婚式や誕生日、そして退職する先生のお祝いなど様々です。共通して言えるのは、食べ物テーブルいっぱい並んでいること、1人ずつお祝いの言葉を述べて乾杯すること、そして最後に大量の食べ物がお土産としてもらえることです。会が始まる時点で、写真のようにサラダやボールソック(боолсок)という揚げパン、果物がところ狭しと並んでいます。その後、サムス(самсы)と呼ばれるミートパイやマントウ(манты)という蒸し餃子のような料理が出てきて、最後にベシバルマック(беш бармак)というキルギスの伝統料理が出てきます。トイのために羊をさばく家庭が多く、ベシバルマックには羊肉が大きな塊でついてきます。羊肉は、部位によって誰が食べるのか基本的には決まっているそうです。(例えば頭部は年配の男性に、お尻付近の油が多い部位は年配の女性に、あばらの部位は子どもに渡すようです。)

今後もマイラムやトイを通して、キルギスの文化を学んでいきたいと思います。

Рахмат! (ラフマツトゥ) ありがとう!

学生スタッフがオススメするボランティア！読んで興味を持ったら、ぜひ参加してみてください☆
そして、みんなの最初の一步や大切に想うコトバやメッセージを入れてみました。

青砥祐太
交流文化学部2年



あおちゃん的一步

僕はCCCのことを大学のパンフレットで知りました。僕が大学でボランティアをしたいことを知っていた母親に伝えると、「これから先やりたいことは自分からやらないとできないよ」と言われました。今となってはすごく当たり前の言葉ですが、この言葉がCCCを訪れる第一歩となりました。

オススメしたいボランティア

僕のオススメは子ども平和フォーラムです。色々な国籍の子どもたちが平和や平等を考える授業を受け、2泊3日寝食を共にします。そこで、僕はフィリピン人の子どもと関わりました。彼らは遊ぶ時にジェスチャーで説明していて、言語で話すことが全てではないということをも身を持って感じました。このボランティアで貴重な体験をしたのでオススメです！

CCCで得たこと(ひとことキーワード)

人と人とのつながりの大切さを知ることができました！

あさみちゃん的一步

高校2年生の時、長久手キャンパスの淑風祭で初めて介助犬のデモンストレーションを見ました。楽しんで人のお手伝いをする介助犬にとっても惹かれました。入学後の学内での介助犬のデモンストレーションを見にCCCへ行き、また、ボランティア情報紙をもらうためにもCCCへ行きました。これが私のCCCへの第一歩！

オススメしたいボランティア

発達障がいのある子どもたちと一緒に出かけたり遊んだりするサマースクールです。最初は子どもたちとのコミュニケーションの取り方がわからなくてとても心配でしたが、子どもたちの笑顔がたくさん見られて嬉しかったです。個性あふれる子どもからたくさん元気もらいました！

CCCで得たこと(ひとことキーワード)

色々な人との出会いだと思います。CCCのスタッフさんや学生スタッフ、団体に所属している学生さんと顔見知りになり、自分と異なる目標や思いを持つ仲間と出会うことはとても良い刺激です。色々な話を聞くことで日々私の興味は広がっていきます！

水谷麻美

交流文化学部2年



上古代健太郎
心理学部2年



かみこ的一步

元々高校時代に少しかボランティアをしていたこともあり、大学に入っても継続しようと思っていました。しかし最初はCCCに入る勇気がなく、新歓の時に学部の友達に誘われて行きました。そこで学生スタッフの先輩たちやスタッフのみなさんに惹かれていつの間にか常連になりました。

オススメしたいボランティア

学習支援がオススメボランティアです！貧困家庭や1人親家族の子どもたちと密に接することができるからです！私は元々そのような子どもたちのことをあまり良く知らなかったのですが、実際はすごく素直な子どもたちがたくさんいることを学びました！

CCCで得たこと(ひとことキーワード)

得たことを漢字一文字で表すと「暖」です！ボランティアを探しに行ったとき、普通にお話をしに行ったとき、学生団体の相談に行ったとき...いつでも暖かく迎え入れてくれるところがCCCです！高校まではあまり人と関わる機会がなかったのですが、CCCは人の暖かさという大切なものに気づかせてくれました！



からたちっちょの一步

初めて CCC に入ったのは、CCC への登録と単発ボランティアの申し込みだったと思います。最初は、CCC にいるみんながボランティア上級者に見えてなんて声をかけていかかわらず、入るときに毎回緊張していました。今では暇さえあればいつい行ってしまう私の「お家」のような場所です！！

オススメしたいボランティア

学生団体「tASUkeai」の防犯教室ボランティアです。子どもたちの元気や楽しそうな笑顔に触れながらボランティアをすることができます！「ボランティアってきちっとしなきゃ！」ってイメージを少し柔らかくして自分自身も楽しませてくれるボランティアだと思います(^-^)

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

「人とのつながりの広がりを知ることでできる場所」
CCC では、他学部・他学年の人、卒業生の方、地域の方など様々な人に出会うことができます。色々な人と会話をする中で、自分と他者とのつながりが広がっていくのを体感できます！最初は入るのに緊張することもあります。2 度、3 度と入っているうちに自然と行きたくなる、そんな場所です！

唐田宏樹

福祉貢献学部 2 年

さーやんの一步

私は「ボランティアがしたいんです！」と胸を張って言える人ではありませんでした。それでも「周りの大学生と違った経験がしたい！」「大した特技もない私が地域でできることって何だろう？」と、曖昧な思いを抱きながら自分本位な好奇心のままに、とりあえず何かやってみようと思ひ込んだことが初めの一步でした。

オススメしたいボランティア

「学生団体が行う活動の当日ボランティア参加」をオススメします！同世代の人がどんな仲間とどんな活動をしているのか知ることができる良い機会になるし、多様な価値感に触れることができるはず。見たことのない世界を見つける近道でもあると思うし、何よりたくさんの刺激をもらえます。

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

「素直になれる心」



加藤沙也果

メディアプロデュース学部

4 年

びいすけの一步

1 年生の時に、2 つのことを考えていました。1 つ目は、授業外での学びの場を探す。2 つ目は、継続して物事に取り組む力・自らイベントを運営する力・対人力がつくような経験を積む。そんなことを考えていた時に、ランチタイムのボランティア紹介のお知らせを見て CCC に入ってみました。

オススメしたいボランティア

学生団体「きらきら☆したら」企画のまちおこし活動をオススメします。たくさんの魅力がある設楽町で学生と地元の方々が協力し、人口流出の進んでしまったまちの地域活性化をおこなっています。地元の茶葉畑でお茶摘みをして、五平餅を作って食べて、豊かな自然の中でキャンプして、地元の方々が伝承してきた伝統工法による小屋組の建設過程を見学できたり…地元の方々との交流を通じて、「地元の良さ」に気づくことのできる活動です。ぜひ！！

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

CCC での私の立場は数か月ごとに変化しています。1 年前期までは主に当日ボランティア、1 年後期からは学生団体メンバーの一員。2 年後期から学生アシスタント。自身の立場の変化によって、交流する人も増え、行動対象も広がりました。様々な立場を経験し、行動し、人とも向き合うことで多角的な広い視野を得ることができました。



川口紗奈

創造表現学部 2 年

さっきーの一步

大学内を探検していた友人に、CCC に行こうよと誘われたことがきっかけで CCC を訪れました。大学生のうちに何か多くのことを経験したいと思っていましたが、アルバイトが掛け持ちでできなかったため、ボランティアであれば多くのことを経験できるのではと考えました。お祭りが好きなので、お祭りのボランティアに惹かれました。

オススメしたいボランティア

JDR トヨタと CCC のコラボ企画です。昨年は「リアル避難所体験」と称した防災イベントを企画・運営しました。初対面のメンバーがほとんどでしたが、何度も顔を合わせ、一緒に考えることで段々と距離が縮まりました。企画から考えて当日を迎えるので、達成感も大きかったです。学部を超えた知り合いが増え、何より自分も楽しめました。

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

充実感と安心感です。自分が興味のあることにはどんどん参加・挑戦できる環境なので、興味の幅がとても広がりました。企画から参加したイベントや団体での活動では、気軽になんでも安心して話すことのできる仲間に出会うことができました。人との出会いと、「楽しそう！」「やってみよう！」と思える気持ちを得ることができました。



長崎里菜

教育学科 4 年

わだっちの一步

高校生の頃、友人がボランティア部に所属していました。その友人からボランティアの話聞き、ボランティアに興味を持ちましたが、私は忙しい部活に所属していたため、大学生になったらボランティアに参加したいと思っていました。その後、入学式の CCC ガイダンスでその気持ちを思い出し、ボランティアに参加しました。

オススメしたいボランティア

2 年間所属していた名古屋城本丸御殿学生おもてなしボランティア（現：学生観光ボランティア）がオススメです。このボランティアは、名古屋城に訪れた日本人を対象に、本丸御殿を案内しながら、名古屋城の魅力を紹介します。多くの人に案内をすることで、自分自身も名古屋の魅力を感じることができました。さらにこのボランティアは様々な大学の学生がやっているの、交流もできます。

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

CCC は学部や年齢関係なく、普段から多くの人が訪れます。そのため、私は様々な人と関わることで、ボランティアの魅力に気づくことができ、自分だけではなかなか参加することのないボランティアにも、積極的に挑戦したいと思えるようになりました。これからも CCC で多くの人と関わりたいと思います！



和田清花

教育学科 4 年



鈴木恵介

メディアプロデュース学部

4 年

けいちゃんの一歩

大学 2 年生になり、新しく何かを始めたいと考えていたある日、偶然ボランティア情報を見たことがきっかけでした。掲載されていたボランティアの中に、興味を惹かれるものがあったのでドキドキしながら CCC に足を踏み入れました！

オススメしたいボランティア

子どもとすごそうプロジェクト（旧 パパ応援講座）です！日進市から委託を受けて活動しているプロジェクトで、子どもたちや親御さんたちのために毎年工作教室や料理教室を企画しています。活動の中でペットボトルロケットを作成する企画があったのですが、親子がコミュニケーションを取りながらペットボトルロケットを笑顔で作成する姿は見ていてほっとする風景でした。完成後、学校の校舎の屋上を越える高さまで飛んでいく様子は驚きと感動を与えてくれました。

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

「多様性を受け入れる心」
CCC にいると、様々な個性を持つ人々と関わる機会が多くあります。それは自分の見聞を広げることににもなりますし、自分の無意識的な思い込みに気づくこともできました。そうした発見が、違いを個性として受け入れる姿勢を持つことの大切さを教えてくれました！



加藤紗奈美
福祉貢献学部 4 年

さなみんの一步

高校生の頃から、将来は福祉関係の仕事に就きたいと考えていたため、大学入学後、すぐ CCC に行ってみました。すると、学生スタッフの先輩方やスタッフさんが気さくに話しかけてくださり、居心地の良さを感じました。CCC に行き、話すことが楽しみになり、気がついたら通うようになっていました。

オススメしたいボランティア

「地域に暮らす人たちのカフェ（認知症サロン）を盛り上げよう！」です。一人暮らしの高齢者や認知症の人を介護する家族の方と会話をしたり、お手玉など昔の遊びを楽しんだりします。お互いがお互いのことを受け入れ合う雰囲気があり、リラックスして参加することができます。

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

“チャレンジ精神”です。様々なボランティアを経験するうちに、企業や行政の方、地域の方々の前で話をさせていただく機会が増えました。初めは緊張感もありましたが、次第に慣れ、堂々と話せるようになりました。大事なものは、失敗してもいいからとにかく挑戦してみようという気持ちを持つことだと気づきました。

ちくわの一步

大学生になったら、ボランティア活動をしてみたいと思っていました。CCC に初めて訪れた時、たくさんの先輩がいっぱいいました。先輩方は活動に夢中になっていて、きらきらしていました。先輩方の様子から、すごく楽しそうな経験ができると感じました。気がつけば私も同じように活動に夢中になっています。これが、私の CCC への一步です！

オススメしたいボランティア

外国人児童と多読活動を行うボランティアです。外国人児童と一緒に、本を読み、感想文を書くのをサポート、音読をサポートする活動です。私はこの活動で、外国人児童の表現力の素晴らしさや個性について子どもたちから学ばせてもらいました。外国人や子どもに関心がある方にオススメの活動です。

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

「人と出会い、人から発見を得る」
CCC では、たくさんの人に出会います。出会いから、社会へ疑問や関心を持つようになります。もっと知りたいと思い、人に聞いたり、実際に見に行ったり。そこで新たな発見を得ます。また自分自身で次への行動を後押ししていることに気づきます。私は今後も発見を繰り返しながら活動していきます！

松浦実咲

グローバル・コミュニケーション学部
2 年



みさきちゃんの一步

私は最初、大学生活で何かやりたい、何かやるのが就職にも役に立つのではないかと考え CCC に行ってみました。そこで、関西弁で明るく友達のように話しかけてくれるスタッフさんと出会いました。堅苦しい場所だと思っていたのにアットホームな感じで、スタッフさんが自分の興味のあることを把握してくれ、フィリピンの国際交流系ボランティアに初めて参加することになりました。

オススメしたいボランティア

名古屋ダイヤモンドドルフィンズとの社会貢献プロジェクトです。養護施設の子どもたちと一緒に遊び、プロバスケットボールの試合を一緒に観戦します。子どもが好きな方、バスケットボールが好きな方にもオススメです。また、他大学の学生さんとも協働するのでつながることができます。

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

人間関係の輪を大きく広げられたということです。ボランティアを通じて同世代の人たちだけでなく、大人の方々と接する機会もたくさんあります。また、他大学や先輩方との関わりも本当に増えました。ボランティアで出会った方々とは、その時だけでの関係でなく、その後も自分の生活につながっています。

桑山千香子

交流文化学部 3 年



インティライミの一步

高校の時から公務員を目指してこの大学に入り、地域やまちづくりに関する活動をしたいと思い、CCC を訪れました。そこで、学生スタッフの「のりさん」に出会いました。お話を聞いたのちに「のりさん」が所属していた団体に所属し、CCC スタッフさんともよく話すようになり、CCC に行くようになりました。

オススメしたいボランティア

「地球未来こども塾」
泊まり込みで 2 日間、子どもたちの遠足についていく担任の先生みtainな活動でした。その中で、子どもたちのリスク管理をしながら 1 人 1 人の特徴を見て接していくことは大変でした。しかし、最後に班のみんなで協力し合いながら 1 つの新聞を完成させることができ、班のみんなが仲良くなれたことがとても感動的で、がんばって良かったなと思えました。

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

「一步を踏み出す勇氣」と「自分との違いに気づくこと」
みなさんぜひ自分自身で体感してみてください！



伊藤奈央人
ビジネス学部 4 年

ともちゃんの一步

私の CCC への第一歩はいつのまにか始まっていました。大学に入ったときに、気になったから履修した授業、先輩からのお誘いで入った学生団体、2 つともやるぞ！って思って挑戦したら、後からここは CCC に関係していたんだ～と気づきました（笑） 自分がやりたい・興味があることが CCC にあって、必然と CCC に導かれていたんだと思います。

オススメしたいボランティア

私のオススメは、環境にまつわるボランティアです！ 人と自然は切っても切れない関係です。私たちの未来では、自然は、環境は、世界はどうなっているのか、それを考えるきっかけになりました。清掃活動や ECO を広めようとするイベントのスタッフなど環境とつながっているボランティアはたくさんあります(^-^）ぜひ参加してみてください！

CCC で得たこと（ひとことキーワード）

「桜梅桃李」
私の好きな 4 文字熟語です。4 年生になる頃にはみんなそれぞれの花を満開に咲かせて卒業していきます。私も咲かせるようにがんばります！



小林知世
交流文化学部 3 年



外国人児童との多読活動

子どもとすごそうプロジェクト

学生団体「tASUkeai 防犯教室

設楽町での茶摘み活動

CCC には、学生スタッフがいいます。

どんなボランティアがあるのかな？ 初めての参加でも大丈夫だろうか？

そんな時に相談にのってくれる みなさんと同じ学生です。

そんな学生スタッフたちがオススメするボランティア。

興味があるものがあれば、1 度、学生スタッフに聞いてみてください。

新しい自分が発見、できるかも！？

CCC のトビラから多くの学生さんが卒業していきました。

卒業しても、そのトビラは学生だったみなさんに開いています。

なつかしくなったり、またボランティアしたくなったら、いつでも訪れてください。

そして！現役の大学生のみなさん。みなさんの可能性は∞（無限大）です！

みなさんの地域と関わる「何かしたい気持ち」をカタチにできるよう いつも 応援しています。



編集後記

コラボ通信、記念すべき50号！

地域の方から学生まで、たくさんの人と人との交流が生み出してきた物語に「人のつながり」の可能性を感じます。いつだって、どこにだって、新しい世界へのトビラは開いている。好奇心と勇気を持てば、その先に広がってゆく自分たちの姿が待っていました。

これからもCCCとコラボ通信をよろしくお願いします♪

2016年度文学部英文学科卒業 北垣 かなえ

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

